

第57回全日本躰道選手権大会

後援 スポーツ庁・長野県

公認 一般社団法人日本武藝躰道本院

主催 NPO法人日本躰道協会

躰

トーナメント・時程表

開催：令和6年11月17日

場所：長野県立武道館

開会式：10時45分

＜11月17日(日) 第57回全日本躰道選手権大会競技スケジュール＞

役員集合……………8時25分(設営開始)

審判打ち合せ………9時55分

選手集合……………10時30分

開会式……………10時45分

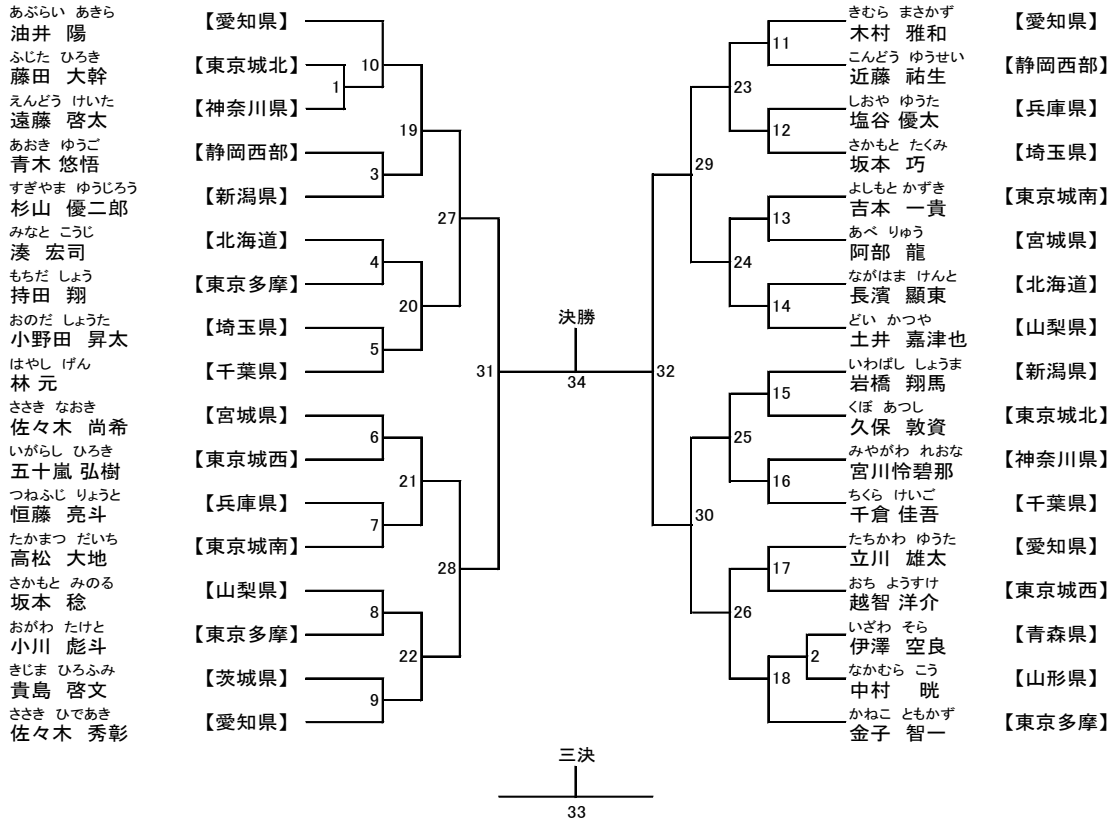
競技開始……………11時15分

Aコート		Bコート		Cコート		Dコート		
	女子個人法形 1-5,12-15,20,21	11:15-12:00 11試合	男子個人法形 1-5,11-14,19,20	11:15-12:00 11試合	女子個人法形 6-11,16-19,22,23	11:15-12:04 12試合	男子個人法形 6-10,15-18,21,22	11:15-12:00 11試合
11:15								
12:00	女子個人法形 24	12:03-12:07 1試合	男子個人法形 23	12:03-12:07 1試合	女子個人法形 25	12:07-12:10 1試合	男子個人法形 24	12:03-12:07 1試合
	女子個人実戦 1-5,10-13,18,19	12:10-12:55 11試合	男子個人実戦 1.3-10,19-22,27,28	12:10-13:10 15試合	女子個人実戦 6-9,14-17,20,21	12:13-12:55 10試合	男子個人実戦 2,11-18,23-26,29,30	12:10-13:06 15試合
13:00	女子個人実戦 22	13:00-13:04 1試合	男子個人実戦 31	13:13-13:17 1試合	女子個人実戦 23	13:00-13:04 1試合	男子個人実戦 32	13:10-13:14 1試合
休 憩								
13:30	男子展開 9チーム	13:30-14:06	男子団体実戦 1-3,6,7	13:40-14:55 5試合	女子団体実戦 1-4	13:30-14:30 4試合	男子団体実戦 4,5,8,9	13:40-14:40 4試合
	女子展開 7チーム	14:09-14:37			男子団体法形 6チーム	14:34-15:00	壮年法形 1-12	14:43-15:35 12試合
15:00	女子団体法形 8チーム	14:40-15:14	男子団体実戦 10	14:58-15:13 1試合	男子団体実戦 11	15:03-15:18 1試合		
	女子団体実戦 【三決】5	15:17-15:32 1試合	男子団体実戦 【決勝】13	15:15-15:30 1試合	男子団体実戦 【三決】12	15:20-15:35 1試合		
	女子団体実戦 【決勝】6	15:34-15:49 1試合						
16:00	男子展開 【決勝】	15:52-16:08 4チーム	女子団体法形 【決勝】	15:33-15:49 4チーム				
	女子展開 【決勝】	16:10-16:24 4チーム	男子団体法形 【決勝】	15:52-16:08 4チーム				
	壮年法形 【決勝】14	16:27-16:34 1試合	壮年法形 【三決】13	16:27-16:34 1試合				
	男子個人法形 【三決決勝】25, 26	16:37-16:45 2試合	女子個人法形 【三決決勝】26, 27	16:37-16:45 2試合				
16:50	男子個人実戦 【三決決勝】33, 34	16:48-16:55 2試合	女子個人実戦 【三決決勝】24, 25	16:48-16:55 2試合				

閉会式……………17時00分

男子個人実戦競技 34人

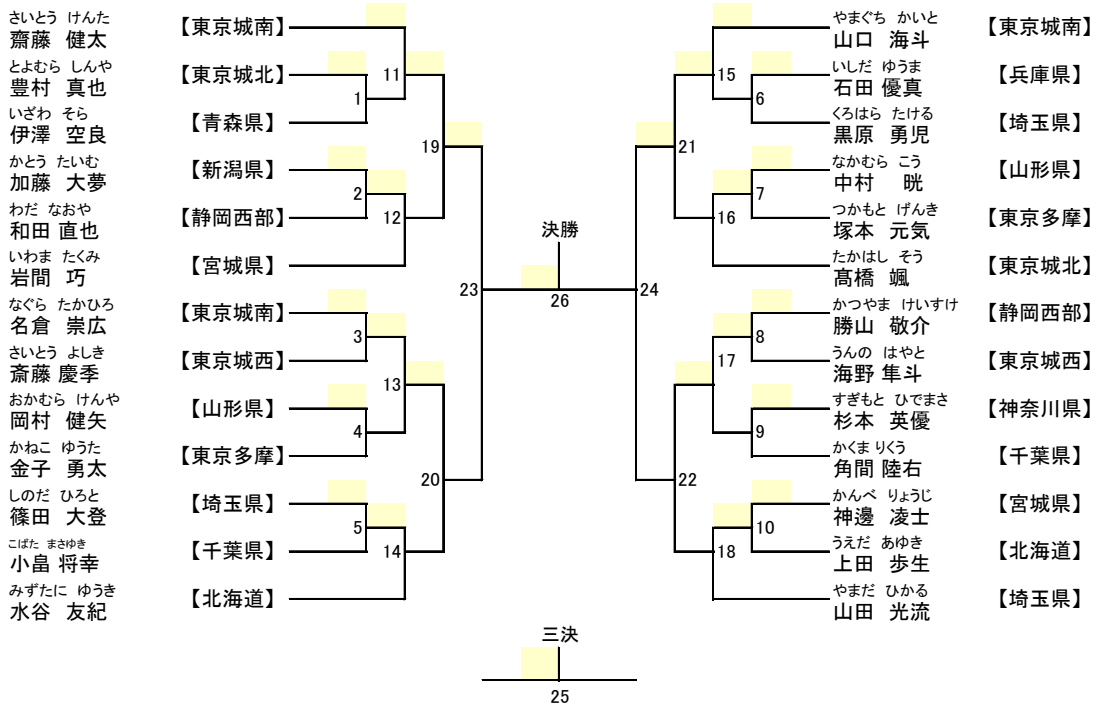
試合時間 予選1分30秒 三決・決勝2分 (準決・三決・決勝は1分1回のみ延長あり)
胴プロテクター着用厳守



優勝	第2位	第3位	第4位

男子個人法形競技 26人

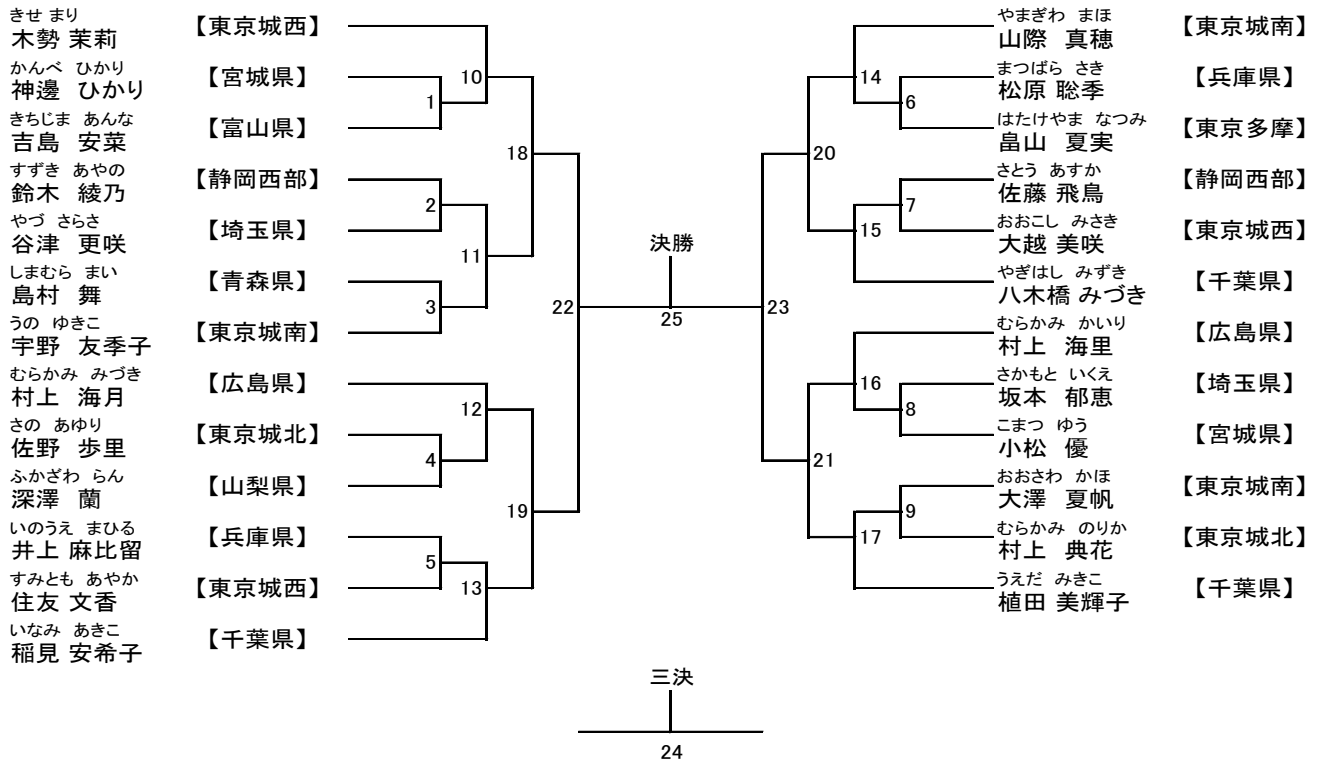
1・2回戦:運体の法形 / 3回戦以降:体の法形から自由選択



優勝	第2位	第3位	第4位

女子個人実戦競技 25人

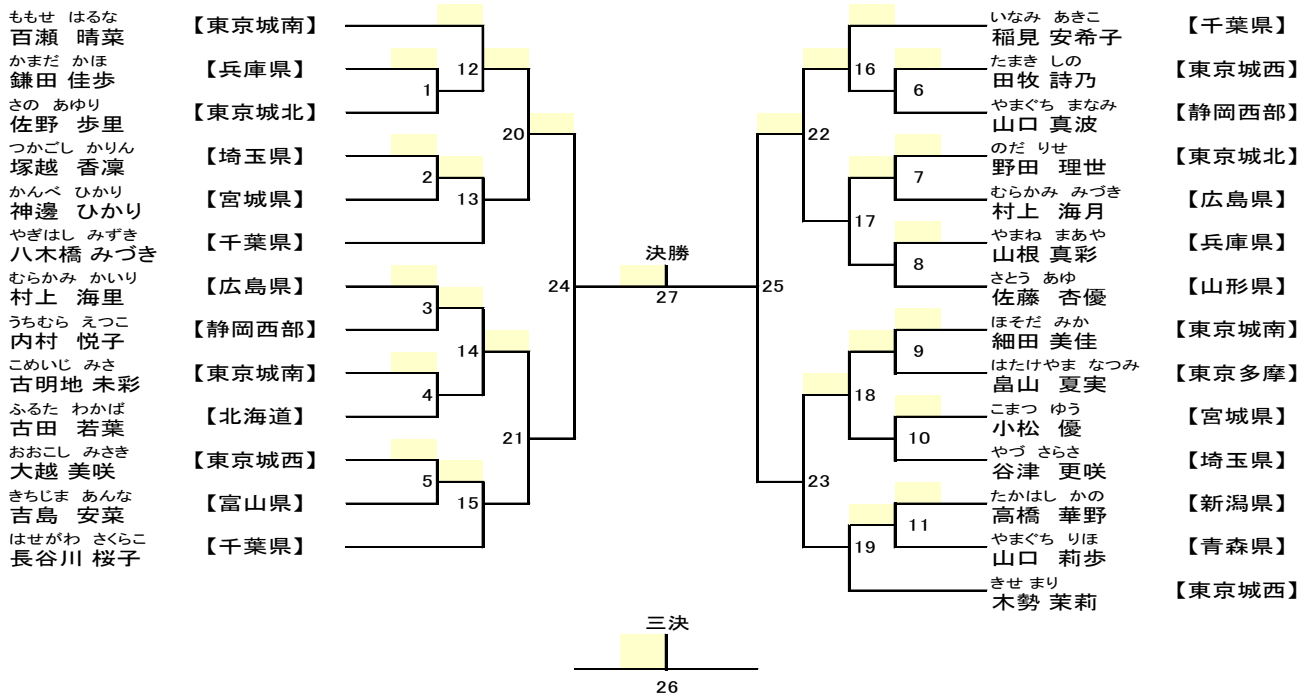
試合時間 予選1分30秒 三決・決勝2分（準決・三決・決勝は1分1回のみ延長あり）
胸プロテクター着用厳守



優勝	第2位	第3位	第4位

女子個人法形競技 27人

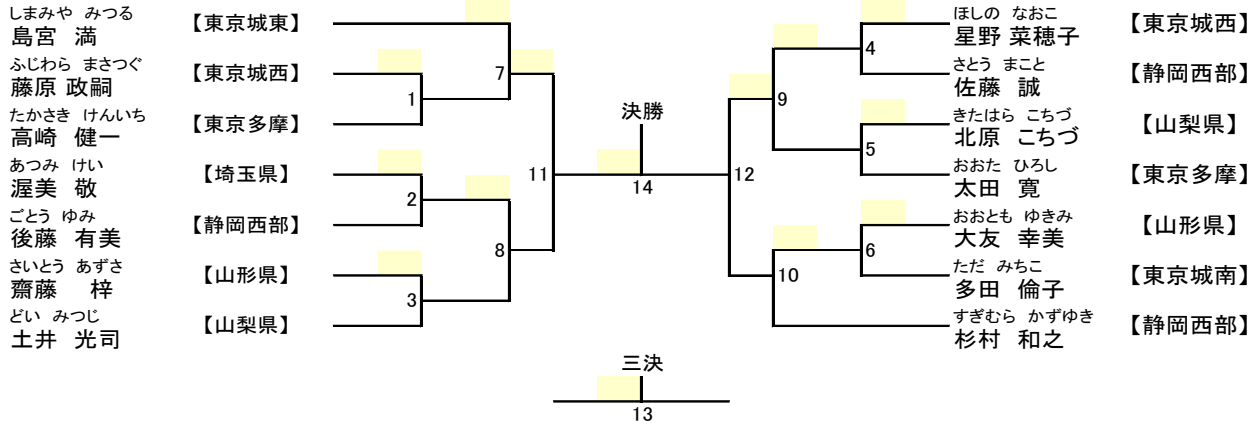
1・2 回戦: 運陰の法形 / 3 回戦以降: 陰の法形から自由選択



優勝	第2位	第3位	第4位

壮年法形競技 14人

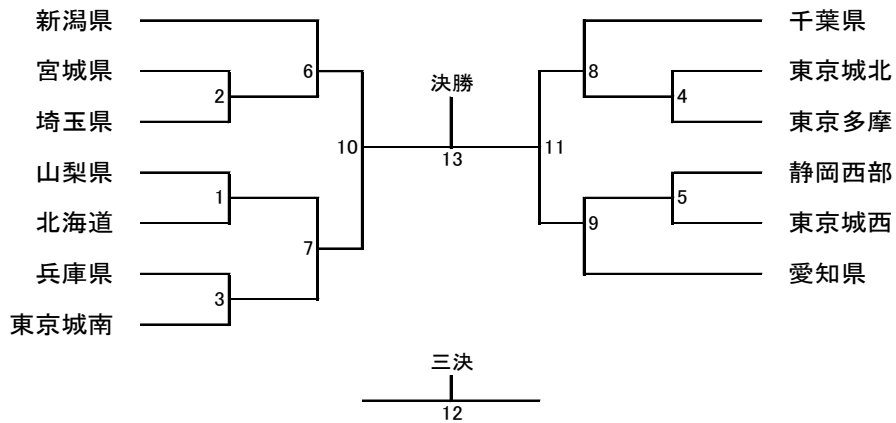
1.2 回戦勢命(表のみ)、3 回戦以降 活命・延命から選択



優勝	第2位	第3位	第4位

男子団体実戦競技 13チーム

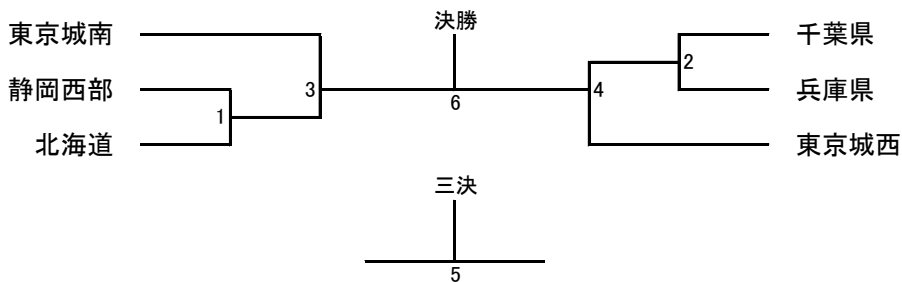
試合時間 1分30秒



優勝	第2位	第3位	第4位

女子団体実戦競技 6チーム

試合時間 1分30秒



優勝	第2位	第3位	第4位

男子団体法形競技 6チーム

予 選							
No.	団体名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	千葉県B						
2	東京城南B						
3	東京城西						
4	千葉県A						
5	北海道						
6	東京城南A						

※1: 競技順番は実行委員会で抽選を行いました。

決 勝							
No.		主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1							
2							
3							
4							

優勝	2位	3位	4位

女子団体法形競技 8チーム

予 選							
No.	団体名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	東京城北						
2	東京城南B						
3	千葉県B						
4	北海道						
5	青森県						
6	東京城西						
7	東京城南A						
8	千葉県A						

※1: 競技順番は実行委員会で抽選を行いました。

決 勝							
No.		主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1							
2							
3							
4							

優勝	2位	3位	4位

男子団体展開競技 9チーム

予 選													
No.※1	団体名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1	東京城西												
2	千葉県B												
3	東京城南B												
4	宮城県												
5	千葉県A												
6	北海道												
7	新潟県												
8	東京城南A												
9	静岡西部												

※1: 競技順番は昨年の大会実績と実行委員会にて抽選を行いました。

決 勝													
No.	団体名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1													
2													
3													
4													

優勝	2位	3位	4位

女子団体展開競技 7チーム

予 選													
No.※1	団体名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1	東京城南B												
2	東京城北												
3	千葉県B												
4	北海道												
5	東京城西												
6	東京城南A												
7	千葉県A												

※1: 競技順番は昨年の大会実績と実行委員会にて抽選を行いました。

決 勝													
No.	団体名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1													
2													
3													
4													

優勝	2位	3位	4位

<大会結果…… 第57回全日本躰道選手権大会>

	優勝	2位	3位	4位
総合				
男子個人実戦				
女子個人実戦				
男子個人法形				
女子個人法形				
壮年法形				
男子団体実戦				
女子団体実戦				
男子団体法形				
女子団体法形				
男子団体展開				
女子団体展開				

最優秀選手賞	
優秀選手賞	

日本武藝躰道本院杯	
-----------	--

第57回全日本躰道選手権大会 得点表<総合>

地区名	個人競技種目					団体競技種目						合計点	順位
	男子		女子		壮年	男子			女子				
	実戦	法形	実戦	法形	法形	実戦	法形	展開	実戦	法形	展開		
北海道													
青森県													
岩手県													
宮城県													
山形県													
福島県													
栃木県													
茨城県													
群馬県													
埼玉県													
千葉県													
東京城東													
東京城西													
東京城南													
東京城北													
東京多摩													
神奈川県													
山梨県													
富山県													
新潟県													
静岡東部													
静岡西部													
愛知県													
京都府													
大阪府													
兵庫県													
和歌山県													
鳥取県													
広島県													
徳島県													
福岡県													
沖縄県													

* 1位・・・10点 2位・・・6点 3位・・・3点 4位・・・1点

同位の場合には、優勝→2位→3位→4位の順で多い方を上位とし、それでも同位の場合は、団体競技種目での入賞が多い方を上位とします。

【大会要項抜粋】

1. 競技種目と出場枠

出場種目	出場枠	出場資格 (申し込み時)	注意事項	補欠
男子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	胴プロテクター着用厳守	不可
女子個人実戦競技 (一般の部)	2名	初段以上	胴プロテクター着用厳守	不可
男子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1. 2回戦 運体 3回戦以降、 体の法形 から自由選択	不可
女子個人法形競技 (一般の部)	2名	初段以上	1. 2回戦 運陰 3回戦以降、 陰の法形 から自由選択	不可
壮年法形競技	2名	初段以上 (40歳以)	1. 2回戦 勢命 (表のみ) 3回戦以降、 活命・延命 から選択	不可
男子団体実戦競技	1チーム	初段以上	1チーム男子5名 競技監督1名(原則として会員、初段以上) 胴プロテクター着用厳守	1名まで可
女子団体実戦競技	1チーム	初段以上	1チーム女子5名 競技監督1名(原則として会員、初段以上) 胴プロテクター着用厳守	1名まで可
男子団体法形競技	2チーム	原則として 初段以上	1チーム男子5名 体・陰から自由選択	1名まで可
女子団体法形競技	2チーム	原則として 初段以上	1チーム女子5名 体・陰から自由選択	1名まで可
男子展開競技	2チーム	原則として 初段以上	1チーム男女6名 背番号制 ※ 女子混合可	1~6名まで可
女子展開競技	2チーム	原則として 初段以上	1チーム女子6名 背番号制	1~6名まで可

※展開競技・団体法形競技の決勝戦進出は予選後、上位4チームが決勝戦進出となります。(予選のブロック分けはありません)

※出場資格については申込み時点での段級位になります。

実戦競技の競技時間

※ 決勝戦・三位決定戦・準決勝のみ延長戦（1分1回のみ）を行います。

戦	競技	回	予選	3位決定戦・決勝戦
一般	男子個人実戦		1分30秒	2分00秒
	男子団体実戦			1分30秒
	女子個人実戦		1分30秒	2分00秒
	女子団体実戦			1分30秒

※団体実戦競技監督は、原則として初段以上の日本剣道協会会員とし、競技参加時は正装とする。初段未満もしくは日本剣道協会会員でない場合は、大会申込書にその旨を記載し、事前に実行委員会に許可を得る必要があります。

2. 出場資格と出場制限

※出場資格・制限を違反した場合は、全ての出場種目が**失格**になります。

【出場資格】

- 1) 申し込み時、日本剣道協会に「一般会員」「正会員」「高校剣道部所属会員」として登録されており、高校生以上の年齢を満たす者。
- 2) 出場費納金期限までに「一般会員」は令和6年9月分（第2期）までの**協会費が登録時より継続的に支払われている**こと、「正会員」は令和6年度までの正会員費が支払い済みであること。
- 3) 出場資格については、**申込み時点での段級位**になります。見込み段級位での申し込みは不可ですのでご注意ください。

【出場制限】 1人2種目（展開競技に出場する場合は3種目も可）

1) 推薦出場枠（個人種目のみ）

本大会令和5年度、個人種目ベスト3の選手は前項で決められている出場枠とは別に申し込むことが出来ます。

2) 出場資格が「原則として初段以上」の種目は2級以上でも各県地区理事長の推薦がある場合は出場が認められる。〔理事長推薦書〕を必ず添えて提出すること。

※怪我に繋がりますので、実技を確認し理事長責任で推薦を行ってください。

6. 棄権・ドクターストップ・補欠制度等について

(2014/9/5 付 審判局〔棄権・ドクターストップ・補欠制度等に関する通知書〕より一部抜粋)

【棄権】

定義

- ・自らの意思によるもの。(怪我、遅刻等)

決定事項

- ・個人戦で棄権の場合、その後の該種目への出場は不可。
- ・団体戦で棄権した場合、その後の当該種目への再出場を認める。

(例)

- ・怪我で午前中に団体実戦を棄権した後の次戦以降への再出場
※ただし、体力温存等戦略的な棄権の場合、再出場は認めない。
- ・棄権した種目以外の種目への出場は認める。

(実戦競技における判定例)

・赤の選手の蹴りが白の選手の顔面に当たり(失格を言い渡す程ではない)、白の選手が大事を取って自ら棄権を申し出た場合。

⇒赤に注意を与えた後、「白棄権につき、赤の勝ち」となる。

【補欠制度】

決定事項

- ・補欠も種目制限の対象とする
- ・補欠制度を利用した場合、元の選手の復活は不可
- ・怪我等やむを得ない場合のみ制度の利用可
- ・各競技の補欠人員は以下の通りとする。
 - ・団体法形競技：1チームにつき1名
 - ・団体実戦競技：1名
 - ・団体展開競技：1チームにつき1～6名